1. 和歌山県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	1,093,385,082	
	内訳	うち、国費相当額	124,105,279
		うち、地方負担相当額	124,105,279
		うち、負担附寄附金等	845,174,525
②	基金運用益	908,084	
③	その他収入		
④	負担附寄附金等	329,362	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	30,510,945	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	1,064,111,583	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	109,170,679
		うち、地方負担相当額	109,170,679
		うち、負担附寄附金等	845,770,225

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		1,064,111,583	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		217,885,000	
⑩	保有割合		4.884	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 国庫補助金相当額の国庫返還の可否 (運用型はすべて、取崩型は2. 保有割合が1以上の場合に限る。)

⑪	使用見込額を上回る資金の国庫補助金相当額の国庫返還の可否	否
⑫	返還可能額	
⑬	返還時期	
⑭	返還が困難である理由	令和6年度における本件の基金保有割合は、4.884であるが、これは負担附寄附金を含んでおり、除いた達成額での保有割合は1.002である。なお、1.0を超えていますが、本県では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け令和6年度から脱炭素政策課を設置し、取組を強化しており、今後、県民等への環境保全にかかる啓発等の事業を追加して実施する予定であるため、返還は困難である。

4. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	わかやまこどもエコチャレンジ	1,703,000		1,703,000	59%	3,714,000	13,714,000
2	グリーンカーテン	840,125		840,125	73%	1,080,000	3,080,000
3	わかやま環境賞表彰	121,960		121,960	82%	180,000	540,000
4	実践的な温暖化対策の取組の発信	546,480		546,480	90%	550,000	1,650,000
5	地域草の根運動の推進	2,924,460		2,924,460	83%	2,000,000	5,800,000
6	おもしろ環境まつり	2,030,000		2,030,000	83%	2,100,000	6,150,000
7	環境学習アドバイザーの派遣	789,028		789,028	80%	1,200,000	3,450,000
8	水生生物調査	196,768		196,768	38%	320,000	960,000
9	外来生物防除のための普及啓発プロジェクト	2,138,670		2,138,670	35%	2,554,000	7,662,000
10	プラスチックごみ対策事業	99,990		99,990	69%	1,050,000	3,150,000
11	生物多様性と和歌山戦略推進プロジェクト (保全を担う人材育成)	3,311,832		3,311,832	79%	4,395,000	13,395,000
12	和歌山県ゼロカーボンドライブ推進事業	10,056,182		10,056,182	94%	1,000,000	2,742,000
13	和歌山県脱炭素ポータルサイト構築事業	5,752,450		5,752,450	49%	4,660,000	6,060,000
14	県民環境配慮行動促進事業					35,900,000	83,700,000
15	脱炭素出前授業					500,000	1,500,000
16	食品ロス削減推進事業					4,269,000	12,807,000
17	商工会等脱炭素経営促進事業					4,700,000	14,100,000
18	クリーンアップ運動 (スボGOMI大会の開催)	0	0	0			7,800,000
19	わかやま環境教科書の作成	0	0	0			20,000,000
20	わかやま環境検定	0	0	0			5,625,000
21	地域3R活動支援	0	0	0			4,000,000
合計		30,510,945	0	30,510,945		70,172,000	217,885,000

5. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	県内全域の温室効果ガス削減目標	
	2013 (平成25) 年度比	-41.5%
	※	-46.0% (2030 (平成42) 年度)
成果実績		-31.0%
目標値		-41.5%
達成度		75%

令和6年度 事業報告書

事業名	わかやま こどもエコチャレンジ	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成27年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
こどもを通じた家庭でのエコ活動を通して、県民一人ひとりの環境意識の向上を図り、各家庭での温室効果ガス排出量の削減のための実践的な取組を促進

○目標値
配布数に対する活動レポートの提出率 20パーセント

2. 概要

○夏休み期間中に、こどもが家族と一緒に地球温暖化防止について考え、エコ活動に取り組む
○取り組んだエコ活動を「活動レポート」で報告し、県に提出
○提出された「活動レポート」をホームページで公開
○提出された「活動レポート」の中から入賞作品を決定し、入賞者を表彰、入賞作品を展示
○身近な取組を広く紹介することで、各家庭での実践的な取組につなげる

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○県内小学校4,5,6年生に配布（約21,000部）
○73校、2,720人からの応募（応募者全員に記念品を送付）
○応募者の中から8名の入賞者を決定、環境イベントで表彰するとともに、県内4か所で展示し、県民へ啓発（入賞者へは、記念メダルと受賞記念品を贈呈）
○応募作品の中で、公開可能な作品は県のホームページで公開

令和6年度 事業報告書

事業名	グリーンカーテン	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成25年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
県内小学校等でのグリーンカーテンづくりを通じ、実践的な環境学習を支援
環境教育を通じた環境保全活動を支援、環境問題に関する知識の習得を図る

○目標値
グリーンカーテン事業に取り組む参加校数 60校

2. 概要

○県内の小学校等から参加校を募集し、ゴーヤ、きゅうりの苗等栽培用具一式を配付し、グリーンカーテンづくりを行うことで、その節電効果を実感

○結果報告を取りまとめ、HPへの掲載することで啓発を実施

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○各市町村教育委員会の協力を得て、県内全小学校に案内を配布し募集

○グリーンカーテン事業を県内の小学校に普及させるため、実施校を訪問し、児童の活動の様子をメディアを通して発信する苗植えイベントを実施

○令和6年度は県内小学校校43校にグリーンカーテンづくりの教材を配布

○各学校における実施状況をホームページで公開

令和6年度 事業報告書

事業名	わかやま環境賞表彰	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
県内で活動する環境の保全に関する実践活動が他の模範となる団体又は個人を表彰し、活動事例を広く県民に紹介することにより、環境保全に関する自主的な取組を促進

○目標値
応募団体（者）数 25団体（者）

2. 概要

○環境の保全に関する実践活動が他の模範となる団体又は個人を表彰
○活動事例を広く県民に紹介することにより、環境保全に関する自主的な取組を促進させる
○毎年6月の環境月間にあわせて、表彰式を開催し、賞状・記念品を授与

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○リーフレット（募集要綱、応募用紙）を作成し、応募団体（者）を募集
○県HPへの掲載、市町村、教育委員会、学校、関係団体にリーフレットを送付するとともに周知・推薦を依頼
○選考委員会による選考を経て知事が受賞者を決定 5団体に対し知事表彰
○環境月間に合わせて表彰式を開催し、賞状・記念品等を授与
○応募数24団体（者）

令和6年度 事業報告書

事業名	実践的な温暖化対策の取組の発信	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成13年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
身近な広報媒体であるラジオ放送を通じて地球温暖化対策の必要性などを県民にむけてわかりやすく発信し、地球温暖化問題への県民の意識啓発を行い、自主的な行動、取組につなげる

○目標値
年間放送回数 54回

2. 概要

○1年を通じた、地球温暖化対策に関するラジオCMの放送
【主な放送内容】環境月間(わかやま環境賞の募集を含む)、クールビズ、関西夏のエコスタイル、省エネ家電への買替、エコドライブの励行、おもしろ環境まつりの開催、関西冬のエコスタイル、電動車への買換

3. 根拠法令等

環境基本法、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○年間放送計画の策定
○放送事業者と委託契約締結
○放送内容の協議（時期毎）
○放送(年間実施回数 54回)

令和6年度 事業報告書

事業名	地域草の根運動の推進	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成21年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
和歌山県地球温暖化防止活動推進員による、地域における環境保全活動の活性化を図る

○目標値
和歌山県地球温暖化防止活動推進員数 100人

2. 概要

○和歌山県地球温暖化防止活動推進員による活動（イベント、講演会、実践交流会の開催など）の支援、養成講座・スキルアップ講座の開催等、地域住民による自主的な活動の取組を支援

○脱炭素推進に向けて脱炭素まちづくりファシリテーターを養成し、県内に脱炭素のムーブメントを広める

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例
和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○地域協議会の活動（イベント、講演会、実践交流会の開催など）支援

○地球温暖化対策情報誌「わおん通信」を発行（紙媒体を中止、データでホームページ上に公開）

○地球温暖化防止活動推進員の養成講座等の開催

○和歌山県地球温暖化防止活動推進員数 58人（令和6年度末）

○脱炭素のムーブメントを広めるため、脱炭素まちづくりカレッジを開催

○脱炭素ファシリテーター養成講座参加（2名）

令和6年度 事業報告書

事業名	おもしろ環境まつり	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成29年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
環境をメインにしたイベントを開催し、主に子供たちにエコな活動や環境保全の楽しさを体験してもらい、家庭等におけるエコ活動・環境保全活動を促進する
イベントの運営・ブース出展を日頃から県内で環境保全に取り組んでいる民間団体等が行うことで、団体間の連携、情報交換が促進され、自主的な取組が活性化される

○目標値
イベント来場者数 1,000人

2. 概要

○主に小学生を対象とした体験型環境イベント
○出展者は、主に県内で環境保全活動を実施する民間団体、大学、企業、行政等
○イベント来場予定者数は1,000名（オンライン視聴者を含む）

3. 根拠法令等

環境基本法、和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○イベント原案検討
○和歌山県地球温暖化防止活動推進センターへの業務委託契約締結
○実行委員会の設置
○イベント内容確定
○出展者募集
○開催告知
○イベント開催
来場者数1,000名（オンライン視聴者を含む）

令和6年度 事業報告書

事業名	環境学習アドバイザーの派遣	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成15年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
環境分野の専門的知識を有する人材を、県内で活動する団体等の環境学習会、環境イベント、研修会等に講師として派遣することで、身近な環境問題に関する知識の普及を図る

○目標値
受講者数 3,500人

2. 概要

○自然環境や大気、水質、土壌など環境分野の専門的知識を有する人材を、「環境学習アドバイザー」として登録
○アドバイザーを学校・市町村・事業所・住民団体等が実施する自然観察会や研修会に講師として派遣し、受講者の知識の習得を図る

3. 根拠法令等

環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
和歌山県環境基本条例、和歌山県地球温暖化対策条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○環境学習アドバイザーの登録44名（令和6年度末）
○環境学習を希望する県内団体からの依頼に応じ、令和6年度は65回の実施し、のべ76名の講師を派遣、2,746人が学習活動に参加。

令和6年度 事業報告書

事業名	水生生物調査	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和4年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
川にすむ生物を調べ、水の汚れの程度を知るとともに、水辺に親しむことで水質の保全について関心を育む。

○目標値
参加者数300人

2. 概要

○6月から9月の間、申し込み者に調査キットを配布する。

○和歌山県内の河川の安全な場所で、3～5人のグループを作り、調査を行う。

3. 根拠法令等

環境基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、和歌山県環境基本条例、和歌山県環境基本計画

4. 実施内容等

○令和6年度は、11団体、289人の参加

令和6年度 事業報告書

事業名	外来生物防除のための普及啓発プロジェクト	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和元年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>○目的 生き物とふれあう機会の多い子ども世代に対し、外来生物の学習を進めるとともに、外来生物に関する啓発グッズ配布など、県民に広く普及啓発することにより、外来生物による県民生活や在来生態系への被害の低減を図る また、当該啓発活動により外来生物への危機意識が醸成されてきたため、地域住民による外来生物防除作業の実践を行う。</p> <p>○目標値 外来生物の学習及び研修会の開催回数 7回 特定地域にのみ生息が限定されている外来生物の生息域の拡大防止・防除作業 10回</p>
--

2. 概要

<p>○学校における環境学習や、地域における子ども向けの活動において、外来生物の学習や研修会を開催 ○外来生物にかかる普及啓発のためのグッズを作成し、配布 ○既に確立された防除方法を用いた地域ボランティア等（有償、無償）による当該地域の外来生物防除作業（地域団体への委託）</p>
--

3. 根拠法令等

<p>特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、和歌山県外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する条例、生物多様性と和歌山戦略</p>
--

4. 実施内容等

<p>○外来生物防除の啓発 地域ボランティアの協力のもと、アフリカツメガエル等外来生物の防除活動等を13回実施（田辺市鳥ノ巣半島）</p>

令和6年度 事業報告書

事業名	プラスチックごみ対策事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和2年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
海洋プラスチックごみの発生原因となっているごみの散乱を防止するため、県民への教育・啓発を実施するとともに、プラスチックごみ削減のためのキャンペーンや協力事業者制度による県民運動を通じて、広域的な環境の保全及び海洋プラスチック問題の解決を図る

2. 概要

○ごみの散乱防止に資する県民への教育・啓発
○県民運動としてプラスチックごみ削減に取り組むための施策の実施

3. 根拠法令等

和歌山県ごみの散乱防止に関する条例
プラスチック資源循環戦略、海洋プラスチックごみ対策アクションプラン

4. 実施内容等

○ごみの散乱防止に関する県民への啓発
（県民等による清掃活動を応援する、わかやまごみゼロ活動応援制度の周知）
○ごみの散乱防止に係る条例チラシの作成（協力事業者制度 チラシ3,000枚、ごみの散乱防止条例チラシ 10,000枚）
○プラスチックごみ削減に関するキャンペーン及び協力事業者制度の実施

令和6年度 事業報告書

事業名	生物多様性和歌山戦略推進プロジェクト（保全を担う人材育成）	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和3年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
若年層に対し、自然環境への興味・関心を高めるための機会を提供し、優秀な人材を発掘することで、次代の環境保全及び生物多様性保全を担う人材の育成を図る

○目標値
自然環境体験学習会開催数 2回

2. 概要

○実際の地域において、生物多様性の知識を普及するための自然環境体験学習会を開催

3. 根拠法令等

環境基本法、生物多様性基本法、和歌山県環境基本条例、和歌山県環境基本計画、生物多様性和歌山戦略

4. 実施内容等

○ネイチャー・キャンプの開催
「山や海辺の生きものと環境」をテーマに、京都大学瀬戸臨海実験所（白浜町）において海キャンプを1泊2日、北海道大学和歌山研究林（古座川町）において山キャンプを1泊2日実施

令和6年度 事業報告書

事業名	和歌山県ゼロカーボンドライブ推進事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和5年度
担当部署	環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
2050年脱炭素社会の実現に向け、県が率先してゼロカーボンドライブに取り組み、住民に対する啓発を行い及び電気自動車導入の必要性や有用性を情報発信することにより、県内の電気自動車の普及を加速させることを目的とする。

○目標値
電気自動車普及率 年間0.1%以上の増加（現状普及率0.17%（R2年度末））
燃料電池車普及率 年間0.01%以上の上昇（現状普及率0.006%（R2年度末））

2. 概要

○県の率先行動による普及啓発
○ラッピングEV、FCVが地域を走り回ることによる普及啓発
○イベントへの展示等による普及啓発
○HPやSNS等を活用した情報発信による普及啓発

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律、地球温暖化対策計画、政府実行計画、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略、地域脱炭素ロードマップ等
和歌山県環境基本計画（地方公共団体実行計画含む。）

4. 実施内容等

○県の公用車に電気自動車及び燃料電池車を導入
令和6年度：電気自動車を県庁・振興局に合計4台導入
○自動車には、EVであることがはっきり分かり、和歌山県らしい魅力的なラッピングを行い、県内を走り回ることによってPR
○環境イベントにおいて展示し、EV・FCVの魅力を発信
○Instagramやfacebook等において、EV公用車の活用状況や魅力を情報発信

令和6年度 事業報告書

事業名	和歌山県脱炭素ポータルサイト構築事業	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和6年度
担当部署	和歌山県 環境生活部 環境政策局 脱炭素政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

○目的

2050年脱炭素社会の実現に向け、脱炭素ポータルサイトを構築し住民や事業者に対する啓発や情報発信を行うことにより、理解を増進させ、地域における脱炭素化を推進することを目的とする。

○目標値

地方公共団体実行計画(事務事業編)策定率 100% (R5.12月時点 73%)
ポータルサイト利用者の満足度 70%以上

2. 概要

○脱炭素啓発用ポータルサイトを構築

○脱炭素にかかる情報を集約し、住民や事業者に向けて情報等を発信することにより普及啓発を実施

○小学校等への出前事業等実施の際に、ポータルサイトを活用

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律、地球温暖化対策計画、政府実行計画、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略、地域脱炭素ロードマップ等
和歌山県環境基本計画（地方公共団体実行計画含む。）

4. 実施内容等

○脱炭素における理解を増進させるため、脱炭素ポータルサイトを構築 ※外部サーバ

○ポータルサイトに脱炭素にかかる情報を集約し、県民や事業者に向け脱炭素に関する情報や県の取組などを発信することによる普及啓発

○ポータルサイトには、小学生等にもわかりやすい内容を掲載することで出前事業等において活用し理解増進を図った